

初承認！ 遺伝子パネル検査って？

Point



時間と費用の削減が可能な
遺伝子パネル検査

● 製造販売初承認
● 公的医療保険対象へ

今後の発展が期待される

時間と費用の削減が可能な遺伝子パネル検査

遺伝子、ゲノムなどといったことばを耳にする機会が増えてきました。今回は、厚生労働省が初承認した「遺伝子パネル検査」についてご紹介いたします。

遺伝子パネル検査とは、がん治療の際に使用され、一度に多数の遺伝子を調べることで、患者1人ひとりに適した治療薬があるかどうかを調べる検査をいいます(右図①参照)。

がんは正常な細胞の遺伝子変異によって発症し、どの治療薬が適しているのかは遺伝子変異によって大きく異なります。従来の遺伝子検査では、一度に調べられる遺伝子は一つのみであり、多数の遺伝子を検査するには時間と費用がかかっていました(右図②参照)。

しかし、近年、遺伝子の塩基配列を高速に読み出せる技術が発展したことによって、遺伝子パネル検査では、多数の遺伝子を短時間で検査することが可能となりました。

● 製造販売初承認 ● 公的医療保険対象へ

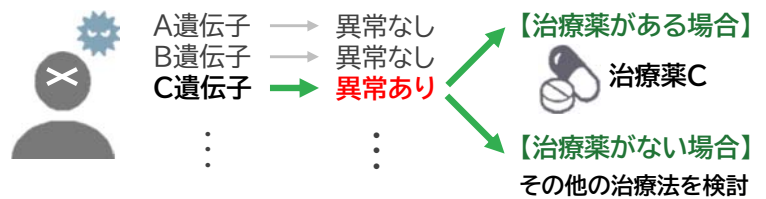
そして、2018年12月下旬に、厚生労働省はシスメックスと中外製薬の遺伝子パネル検査の製造販売を初めて承認しました。今後、遺伝子パネル検査を使用することで、個人に合った薬を選択することが容易になると期待されます。

現在、遺伝子パネル検査は自由診療のため、全額自己負担ですが、2019年春の公的医療保険適用に向けた準備が進められています。これにより、遺伝子パネル検査はより身近なものとなると考えられます。

今後の発展が期待される

遺伝子パネル検査を含む次世代診断・検査の世界の市場規模は、2017年に45.3億米ドルでしたが、2025年には132億米ドルにまで成長すると予想されています(右図③参照)。

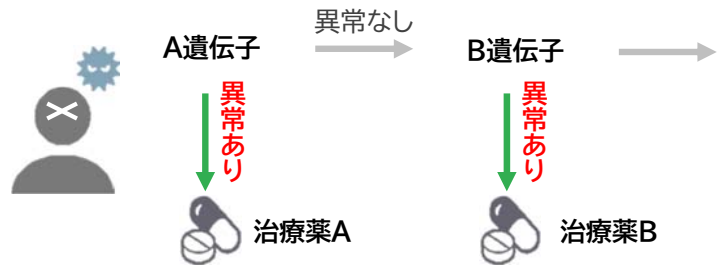
① 遺伝子パネル検査 (今回承認された方法)



✓一度に多数の遺伝子を調べることが可能

(出所)国立がん研究センターの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

② 遺伝子検査 (従来の方法)

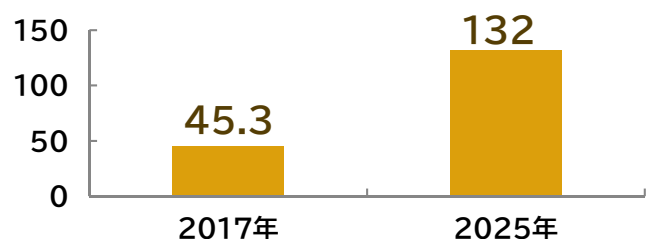


✓一度に調べられるのは、1つの遺伝子異常のみ

(出所)厚生労働省の資料を基に三菱UFJ国際投信作成

③ 次世代診断・検査の世界市場規模予測

(億米ドル) (期間:2017年~2025年)



(出所)株式会社シード・プランニングのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

【本資料に関するご注意事項等】

投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

購入時(換金時)手数料・・・上限 3.24%(税込)

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 37,800円(税込))を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年率3.348%(税込)

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■本資料は、ヘルスケア関連の情報をご提供するために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんので、ご留意ください。

本資料の作成は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会